

## 全国及び県学力学習状況調査を活用しよう！（小学校編）

4月21日に全国学力・学習状況調査と佐賀県小・中学校学習状況調査が小学5年生～中学3年生を対象に実施されました。この調査は子どもたちの学習内容や学習に対する意識等を把握分析し、その課題改善に役立てるものです。この調査問題を詳しく読むことで国や県が考える「学力」がどういうものかを具体的に確かめることができます。

例えば、小学校算数A(第6学年)の①に左下のような問題があります。A問題は主として「知識」に関する問題です。この設問からは、計算の技能だけではなく、数字の大きさの実感や計算の意味の理解までを確かな「知識」として求めていることがうかがえます。

**① 次の問題に答えましょう。**

(1)  $8.9 - 0.78$ のおよその答えとしてふさわしいものを、下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

1 0.1      2 1      3 0.8      4 8

(2)  $5.21 + 0.7$ を0.01をもとにした式に表します。  
 $5.21$ と $0.7$ は、それぞれ0.01を何個集めた数になりますか。次のア、イに入る数を書きましょう。

$5.21$	$+$	$0.7$
↓		↓
ア	$+$	イ




図1 平成27年度全国学力・学習状況調査 小学校算数A①

**出題の趣旨（小学校算数A①）**

- ① 計算の結果の見積もりをすること
- ② 基準となる数を基に数を相対的に捉えること
- ③ 加法と減法の相互関係を理解していること 等を身に付けているかどうかをみています。

**どの学年でも意識した指導を！**

②の基準となる数を基に数を相対的に捉えることができるようにするために、各学年に以下のことが指導内容として挙げられています。

- ・10のまとまりをつくって数える。
- ・十や百などを単位として数の大きさを捉える。
- ・分数や小数の場合でも、基準量に着目して、そのいくつ分とみる。
- ・ある数を基に10倍や1/10などの大きさの数をつくる。

どの学年においても、授業の中で繰り返し指導して身に付けさせていきましょう。

## チームで取り組む「学力向上」！

「一人の百歩より百人の一步」と言われます。先生方一人一人のやる気と行動が学年や学校で同じ方向を向き、協同実践を行うことが大きな成果につながります。そのためには、それぞれの立場で周りの人へ働きかけることが大切です。研究主任、学力向上対策コーディネーター、学年主任、教科主任…。それぞれが中心となってチームをつくり、連携して、学力向上をめざしましょう。そのチーム力を高める支援を、西部教育事務所が行います。ぜひチームに加えてください。そして、取組の第一歩として「西部型授業」を実践してみましょう！

《チーム学力向上》をつくるために  
 あなた(の学校で)は、どのようにしてチームを作っていますか。ご意見をお寄せください。  
<mailto:seibukyouiku@pref.saga.lg.jp>  
 「WEST 学力向上だより」宛て。待っています。



## 西部教育事務所ホームページをご利用ください！

学力向上だよりでは、児童生徒の思考力・判断力・表現力等の能力を育む『西部型授業』の内容を、より具体的に伝えるためにシリーズで連載していく予定です。


また、西部教育事務所ホームページには先生方に役立てていただきたいアイテムを多数掲載しています。

御活用ください。

西部教育事務所 HP <http://cms.saga-ed.jp/hp/s-kyoikujimusho/>から簡単にアクセスすることができます。

学校教育の充実のために

**西部教育事務所**



ここをクリックすると、「実践集」にアクセスできます。

学力向上のための学びき

～WEST～



**西部型授業実践集**